

平成19年度 川崎市特別養護老人ホームしゅくがわらの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 鈴保福祉会 (川崎市麻生区上麻生5-19-10)
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	ア 特別養護老人ホーム事業 定員:68人 イ 通所介護事業 定員:25人/日 ウ 居宅介護支援事業 エ 老人介護支援センター(地域包括支援センターの業務の一部として実施)

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持・管理に関する業務	<p>18年度より、従来業者と新規参入業者による入札により、従前より清掃業務及び警備業務を委託している業者が低価格の入札となり、経費削減と同時に、夜間における連携体制が緊密になり、早急な対応が図られるようになったことを踏まえ、19年度についても引き続き連絡体制の強化を図るために、18年度の委託業者と契約をおこなった。</p> <p>【委託業務の内容】 各種設備保守、清掃業務、警備業務、調理業務、リネン交換業務、廃棄物処理業務 ほか</p>	<p>外部委託等により、施設・設備の維持管理や、夜間における連携体制の強化などの警備体制に関しても適正に努めていると評価できる。</p> <p>今後においても、施設・設備に関して不具合が発生した場合、利用者への影響を最小限に抑え、早急な対応ができるように指導していく。</p>
② 介護サービス提供への取組み	<p>特別養護老人ホームでは、前年度の反省を踏まえ、今年度についても、グループケアとしてサービス提供をし、利用者の心身の状況や変化を把握し、利用者にあった生活スタイルを達成できるように支援した。</p> <p>通所介護事業については、利用者が可能な限り心身の状況に応じ、自宅で健やかな日常生活が送れるよう、介護予防としてのストレッチ体操、バランストレーニング、筋力トレーニングの提供や、入浴の利用で、入浴剤を使用するなど、心地よい気分で精神的な安定を図った。</p> <p>食事の提供については、見て楽しく、食べて美味しい食事の提供や、行事や季節にあった変化のある食事の提供に努めた。</p> <p>身体拘束の取組みについては、定期的に検討委員会を開催し、身体拘束を行わない介護を目標に検討・工夫し、実践してきた。</p>	<p>利用者の心身の状況に応じたサービスの提供が評価できる。</p> <p>高齢者施設では、利用者の尊厳を尊重し、質の高い個別的なケアを実践することが求められていることから、今後においても、より一層利用者の状況に応じたサービス向上に向けた取組みを行うよう指導していく。</p>
③ 利用者の安全管理	<p>感染症対策に関しては、毎月の感染症対策委員会において、感染予防対策について、協議報告を行っている。時期的に発症の見られる感染症に対して、早期の予防対策を講じ、利用者や職員への周知や、面会者・委託業者・来訪者へもポスター掲示での周知や、スプレー消毒等の設置による予防の協力を呼びかけた。</p> <p>事故防止については、事故発見・対応した職員は、施設長及び関係職員に報告し、必要に応じて医療機関への受診や、家族への連絡を行う。</p> <p>災害発生時は、職員連絡網を使用し、近隣の職員から呼び出す体制を整えている。避難訓練や救助訓練を毎月実施している。</p>	<p>利用者の安全管理について積極的に取り組んでいると評価できる。利用者の安全のため、今後においても、事故の発生防止に努め、また、実際に事故が発生した場合には、最小限に被害を抑えられるよう、適切に指導していく。</p>

評価項目	19年度管理運営の状況	評価及び指導																																																								
④ 職員教育、研修の状況	<p>年間を通して、内部研修や外部の研修会への参加を行い、職員の資質向上に努めた。</p> <p>【主な研修内容】 「認知症について」 「食中毒について」 「腰痛対策について」 「AEDの取り扱い及びインフルエンザ」 「身体拘束排除の取組みについて」 「高齢者に多く飲まれている薬について」 「高齢者虐待への円滑な対応に向けて」 「改正介護保険下でのケアマネジャーの役割」 「ヒヤリ・ハット・事故報告と今後について」</p>	<p>多くの研修を行い、職員の質の向上のための取組みを積極的に行っていると評価できる。 今後においても、職員の質の向上が不可欠であることから、職員の教育に力を入れるよう指導していく。</p>																																																								
(2) 事業実績																																																										
① 利用状況について	<p>ア 特別養護老人ホーム 入所定員:68人</p> <p>介護度別利用者数(平成20年3月末現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>6人</td> <td>20人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20人</td> <td>1人</td> <td>64人</td> <td></td> </tr> </table> <p>イ 通所介護事業 通所定員:25人</p> <p>年間延べ利用者数 5,469人</p> <p>月別延べ利用者数</p> <table border="1"> <tr> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>454人</td> <td>490人</td> <td>435人</td> <td>453人</td> <td>495人</td> <td>434人</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td>510人</td> <td>462人</td> <td>438人</td> <td>422人</td> <td>422人</td> <td>454人</td> </tr> </table> <p>定員に対する稼働率 85%</p> <p>ウ 居宅介護支援事業</p> <p>介護度別給付管理者数(平成20年3月分)</p> <table border="1"> <tr> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> </tr> <tr> <td>21人</td> <td>17人</td> <td>9人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5人</td> <td>0人</td> <td>58人</td> <td></td> </tr> </table> <p>エ 老人介護支援センター(地域包括支援センター)</p> <p>老人介護支援センターは、地域の老人の福祉に関する相談援助や市町村等との連絡調整、その他必要な援助を行うもので、従前は在宅介護支援センターとして活動していた。地域の相談支援窓口となることから指定管理者の業務の範囲としているものだが、平成18年4月からは、制度改正により新たに創設された地域包括支援センターの業務の一部として、別途委託事業により実施している。</p>	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	2人	6人	20人	15人	要介護5	その他	合計		20人	1人	64人		4月	5月	6月	7月	8月	9月	454人	490人	435人	453人	495人	434人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	510人	462人	438人	422人	422人	454人	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	21人	17人	9人	6人	要介護5	その他	合計		5人	0人	58人		<p>特別養護老人ホーム、通所介護事業について、高い稼働率となっていることから、良好な利用実績となっているため、今後においても、高い稼働率を維持できるよう指導していく。 老人介護支援センターは、別途委託をしている地域包括支援センターの業務の一部として実施されているものであるが、地域住民の直接的な相談支援窓口となることから、更なる充実を図ること。</p>
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4																																																							
2人	6人	20人	15人																																																							
要介護5	その他	合計																																																								
20人	1人	64人																																																								
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																					
454人	490人	435人	453人	495人	434人																																																					
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																					
510人	462人	438人	422人	422人	454人																																																					
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4																																																							
21人	17人	9人	6人																																																							
要介護5	その他	合計																																																								
5人	0人	58人																																																								
② 行事の実施状況	<p>年間行事の実施に加え、各種クラブ活動や喫茶等、利用者が楽しめるように工夫して行事を行っている。</p> <p>【主な行事】 誕生会、幼稚園交流会、ホーム喫茶、鍋週間、クリスマス会など</p> <p>【主なクラブ活動】 茶道クラブ、華道クラブ、創作クラブなど</p>	<p>数多くの行事を実施していると評価できる。 今後においても、季節感のある行事を実施するよう指導していく。</p>																																																								

評価項目	19年度管理運営の状況	評価及び指導																								
(3) 収支状況																										
① 収支状況について	<p>ア 収入の状況 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別養護老人ホーム</th> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>249,051,415</td> <td>54,854,605</td> <td>9,212,009</td> <td>313,118,029</td> </tr> </tbody> </table> <p>収入については、介護保険制度による介護報酬と利用者負担金を指定管理者の利用料金収入として収受したものである。</p> <p>地域包括支援センターについては、指定管理者に対する委託事業ではないことから、ここでは計上していない。</p> <p>イ 支出の状況 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別養護老人ホーム</th> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>236,795,272</td> <td>37,389,145</td> <td>10,478,917</td> <td>284,663,334</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業運営に必要な人件費・事務費・事業費として支出されたものである。</p> <p>ウ 決算(収支差引)の状況 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特別養護老人ホーム</th> <th>通所介護事業</th> <th>居宅介護支援事業</th> <th>施設合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,256,143</td> <td>17,465,460</td> <td>-1,266,908</td> <td>28,454,695</td> </tr> </tbody> </table> <p>居宅介護支援事業については、支出額が収入額を上回る結果となった。</p>	特別養護老人ホーム	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	249,051,415	54,854,605	9,212,009	313,118,029	特別養護老人ホーム	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	236,795,272	37,389,145	10,478,917	284,663,334	特別養護老人ホーム	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計	12,256,143	17,465,460	-1,266,908	28,454,695	<p>居宅介護支援事業において支出が収入を上回る結果となっているが、決算収支と当初計画収支が、ほぼ同じであることから、適切な運営がなされていると評価できる。全体額としても収入額が支出額を上回っている結果となった。今後においても、安定した事業運営が図れるように指導していく。</p>
特別養護老人ホーム	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																							
249,051,415	54,854,605	9,212,009	313,118,029																							
特別養護老人ホーム	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																							
236,795,272	37,389,145	10,478,917	284,663,334																							
特別養護老人ホーム	通所介護事業	居宅介護支援事業	施設合計																							
12,256,143	17,465,460	-1,266,908	28,454,695																							
(4) その他																										
① 利用者からの意見・要望・苦情等への対応	<p>意見・要望・苦情については「苦情解決・相談実施要綱」に、基づき、施設長へ報告後、介護主任、介護支援専門員、生活相談員等が担当、受付となり記録票へ記入し、事実確認、調査を行った。その上で、施設長に再度報告後、関係職員による会議等を経て、申し出人との話し合いを行い、解決を図った。明らかに施設及び職員の不注意と思われたときには、その都度、全職員に対し、再発防止を徹底した。また、アンケート調査及び連絡帳による意見・要望を随時受け入れ、改善に努めた。</p>	<p>受けた意見・要望・苦情に対しては、適正な処理を行うよう努めていると評価できる。連絡帳を使って意見交換を行うなど、工夫されている点などがあり、今後においてもサービスの質の向上に向け、適正な対応ができるように指導していく。</p>																								
② 個人情報の保護	<p>施設が保有する個人情報については、各事業所が「個人情報に関する基本規定」「個人情報取扱い規定」に基づき取り組んだ。</p> <p>個人ファイルや契約書等に関しては、鍵付きキャビネットに保管し、厳重に管理している。</p>	<p>個人情報の取扱いは、施設全体で共通認識を図ることが重要であり、鍵付きのキャビネットなどの活用について評価できる。</p> <p>今後においても、個人情報保護について、指導していく。</p>																								

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

施設及び設備に関して、定期的な点検等により、適正な管理を行っているとは評価できる。各事業とも高い稼働率となっていることや、施設職員のサービスの向上に向けた様々な研修など、全体的に良好な管理運営がなされていると評価できる。

4 平成20年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

今後も質の高いサービスの提供を行い、より一層サービスの質の向上に向け、積極的に取り組むよう期待する。また、施設及び設備について、突発的な不具合に対しても迅速に対応できるよう、日ごろから適正な維持・管理に努めるよう指導していく。